

阿賀野市立吉田東伍記念博物館

友の会通信

2013-2014

No.2 (通巻68号)

2013.10.1発行

■ 目次	阿賀野市所蔵近現代美術品展Ⅳ 特別企画展『竹久夢二と阿賀野展』～至宝 二瓶コレクション Part1～のご案内	1
	ミュージアム・コンサート2013 TOGO Museum Ensemble 第15回記念演奏会のご案内	1
	会員の研究ノート	2・3
	秋の研修旅行のご案内 / 友の会伝言板 / 編集後記	4

発行：吉田東伍記念博物館友の会 〒959-2221 阿賀野市保田1725-1 (阿賀野市立吉田東伍記念博物館内)
TEL 0250-68-1200 FAX 0250-68-5016 web版友の会通信 <http://wind.ap.teacup.com/togo/>

博物館HP http://www.city.agano.niigata.jp/togo_museum/index.html E-mail y.togo@oregano.ocn.ne.jp

阿賀野市所蔵近現代美術品展Ⅳ

特別企画展 『竹久夢二と阿賀野展』 ～至宝 二瓶コレクション Part 1～のご案内

会 期 平成25年 11月1日(金)～12月25日(水)

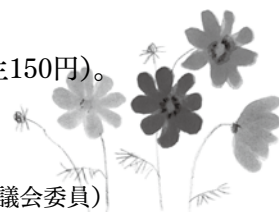
会 場 阿賀野市立吉田東伍記念博物館 2階 研修室

入 場 料 友の会会員は無料。会員以外の方は通常入館料(一般300円、小中学生150円)。

期間中イベント ギャラリートーク「夢二を追いかけて半世紀」

11月10日(日) 13:30～15:00 (申込不要)

講師/百都政弘氏(吉田東伍記念博物館友の会副会長・阿賀野市文化財保護審議会委員)



阿賀野市立吉田東伍記念博物館ミュージアム・コンサート2013

TOGO Museum Ensemble 第15回記念演奏会

秋の日本家屋に響く歌声 ～竹久夢二と大正ロマン～

《曲 目》「紅葉」「里の秋」「カチューシャの唄」「恋はやさし野辺の花よ」「宵待草」ほか
(予定)

日 時/ 平成25年 11月4日(月・振替休日) 11:00 開演 (10:30 開場、12:00 終演予定)

会 場/ 阿賀野市立吉田東伍記念博物館 付属「吉田東伍生家」大広間

入 場 料/ 友の会会員は無料 会員以外の方は通常入館料 (一般300円、小中学生150円)。申込不要。

主催：阿賀野市立吉田東伍記念博物館、吉田東伍記念博物館友の会

出 演

ソプラノ 横田 聡子



新潟大学特別音楽科卒業。上越教育大学大学院修了。ロータリー財団奨学生としてイタリア留学。新潟県音楽コンクール最優秀賞など数々のコンクール等で受賞。オペラでは数多くの作品において様々なキャラクターを演じ、観客を魅了した。また、宗教曲や交響曲などのソプラノ・ソロを務める。最近では日本歌曲の分野にも力を入れている。現在東京学館新潟高校非常勤講師の他、後進の指導にあたりながら、県内を中心に演奏活動をしている。

ピアノ 坂井 加納



東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、イタリア国立音楽院「B. マルチェッロ」ピアノ専攻修了。国内外のコンクールにおいて優秀な成績を収め、伴奏者・ソリストとして多くの演奏会に出演。また2007年には国際歌曲コンクール公式伴奏者を務める。帰国後は新潟を拠点に演奏活動を行い、器楽・合唱伴奏者、オペラ伴奏者としても活躍の場を広げている。

阿賀野市新割遺跡採集の 柱状高台皿と土器について

会員 小林 弘 (こばやし ひろし)

遺跡の立地

遺跡は、阿賀野市六野瀬^{シンワリ}字新割に所在する。五頭山地の西麓には新発田-小出構造線と呼ばれる断層帯があり、地溝帯を挟んで五頭山地と低丘陵が南北に連なる。阿賀野川右岸の断層帯を構成する低丘陵の一つ、久保山（標高101.6m）の南端付近、山頂から南方向に派生する尾根が次第に広くなり、その尾根末端付近で、台地状を呈した地形になる。遺跡は、その台地状地形のやや起伏のある南側の緩斜面に立地する。遺跡の標高は約20m前後で、現況は牧草地、荒地である。

紹介する遺物は、1961年頃、当時の安田町職員・広田康也氏が遺跡踏査の際、表面採集したものである。私も遺跡に数回の現地踏査を行い、細片で図化していないものもあるが、須恵器坏、甕、内黒轆轤土師器の細片を採集し、遺跡である可能性を追認した。今回、採集遺物について広田氏より当時の様子など情報提供をしていただいた。資料紹介にあたり、保管・管理している阿賀野市教育委員会の協力を得た。紙面を借りて感謝申し上げる。

採集遺物（図版1～10）

遺物は、全て破片で器形の全体を追えるものは少ない。総数10点。そのうち、土師器は全て轆轤土師器で5点。そのうち3点が、柱状高台で、碗1点、器種不明1点である。須恵器は3点で坏蓋1点、甕2点、長頸瓶1点、他に中世の珠洲焼が1点ある。なお、図化に際し、断面が白抜きなのが土師器、黒いものが須恵器及び珠洲焼とした。柱状高台の可能性のあるものは、全て身の部分が失われ高台部分である。

1は、底部接地面の破片で、高台の高さが厚く柱状高台の可能性はある。胎土は精良で、水挽き成形で製作され、轆轤成形回転糸切底である。側方観は台部が外に張り出すもので接地面から内傾して立ち上がる。台部の端部は、少し丸みがある。2は、胎土は精良で、水挽き成形で製作され、底部は轆轤成形回転糸切である。接地面から内傾して立ちあがるもので1と比較すると坏あるいは皿の身の立ち上がりが上方に立ちあがっているので碗形を呈すると思われる。3の底部は肉厚で、轆轤成形回転糸切りである。土師器碗あるいは皿の底部である。4は、珠洲焼のT種壺で外面に平行叩き目痕がある。帰属時期は中世である。5は、須恵器長頸瓶の頸部である。焼成、胎土は良好である。6は、土師器無台碗で、轆轤成形回転糸切底である。7は、底部片で内面に轆轤痕が残り、底部接地面は肉厚なことから小甕の底部とも思える。底部に轆轤からの切り離し痕がわずかに確認できるが風化が著しく詳細不明である。8は、須恵器坏蓋片で、胎土は精良で身は薄い。9は、甕片で外面には格子目叩き目痕、内面に同心円当て具痕が残る。佐渡産のものと考ええる。10は、須恵器甕片で外面に平行叩き目痕、内面に同心円状の当て具痕が残る。

考察

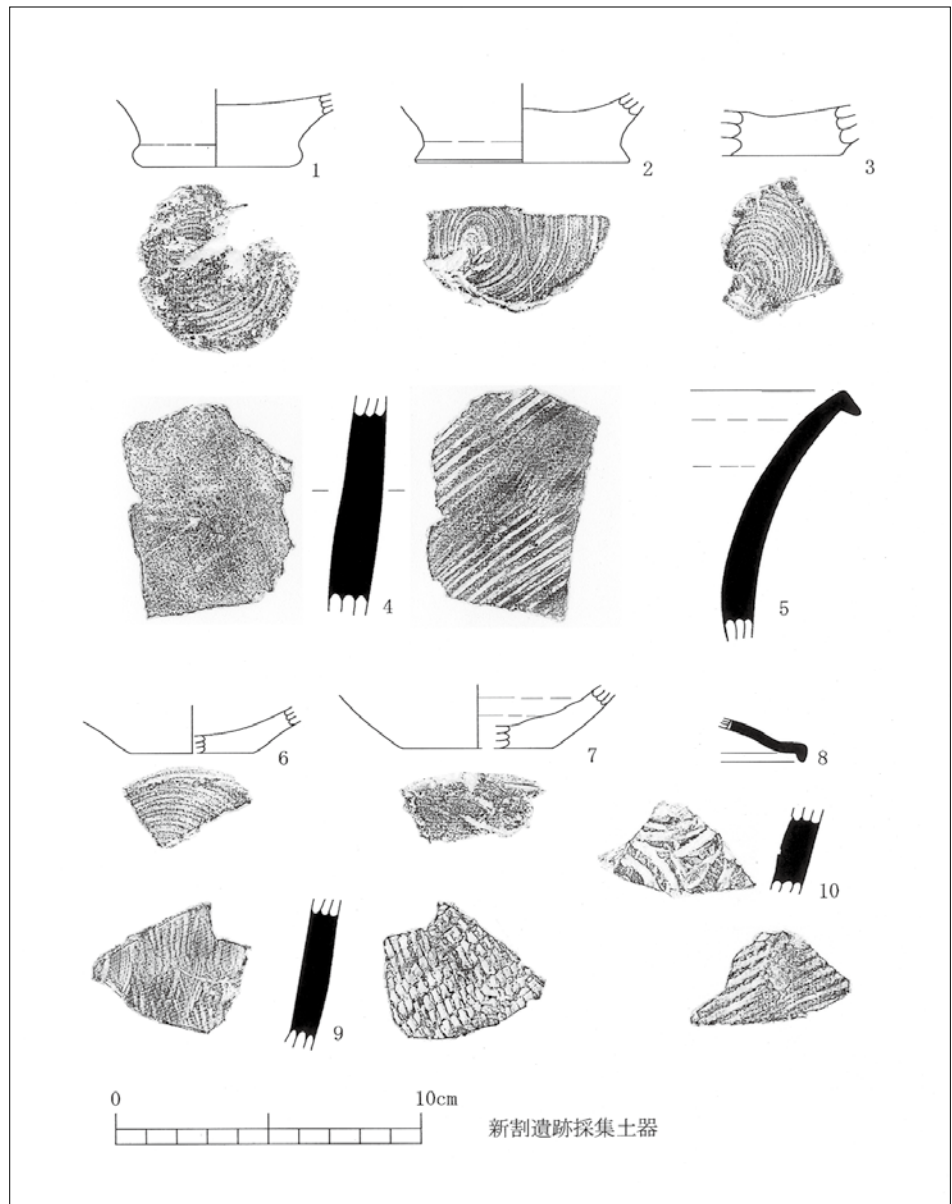
本遺跡から採集された遺物は、採集点数が少なく、制限も多いが年代等について考察してみたい。紹介資料の中に柱状高台と考えられるものがある。柱状高台について全国の類例を集成、分類し編年案を提示した論考がある（八峠2001）。今回紹介した柱状高台は、八峠興氏の編年を参考にすると

11世紀末～12世紀（展開期）の特徴と類似していることから、概ね11世紀中葉から12世紀初頭の年代観と考えている。当該期の柱状高台皿は県内では希少である。八峠氏は、各地の出土事例から用途を考察し、柱状高台皿は日常的な器というよりは、何らかの宗教または儀礼的のため、主または補助的に使用されたと考えられるという。

次に平安時代初期の須恵器については、須恵器に佐渡系の甕類が伴い、薄身の蓋の特徴から9世紀後半と思われる。奈良～平安時代の遺跡は、沖積地や潟湖周辺など稲作に適した平野部に多いが、本遺跡の場合、台地上で遺

跡が展開している可能性が高くなった。情報量が少なく危険であるが、地形から判断して大規模な遺跡が存在したとは考え難い。同様に段丘上や山裾地形に小規模遺跡が確認されている例は、新発田市坂ノ沢C遺跡、阿賀町大坂上道遺跡、上越市横引遺跡、妙高市柳平遺跡である。このような小

規模遺跡が形成される背景には、「離れ国分」と呼ばれているような非農業民（樵、修験者、木地師、鋳物師、マタギなどが考えられるという）（1985樋口）の関与が想定され、他に拠点を持ち、出作的な活動が想定できる遺跡と考えている。



引用参考文献

- 1985 樋口定志「平安期における小規模遺跡出現の意義」『物質文化』
- 1995 『磐越自動車道関係発掘調査報告書 大坂上道遺跡 猿額遺跡 中棚遺跡 牧ノ沢遺跡』新潟県教育委員会 新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 1996 『上信越自動車道関係発掘調査報告書Ⅰ横引遺跡 籠峰遺跡 柳平遺跡』新潟県教育委員会 新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 2001 八峠興「柱状高台皿考」『中世土器研究論集』中世土器研究会
- 2001 『坂ノ沢C遺跡Ⅱ（平安時代編）』県営広域農団地農道整備事業（北蒲原東部地区）関係発掘調査報告書 新発田市教育委員会

秋の研修旅行のご案内

新潟市東区・江南区・西区の遺跡と文化施設をめぐる

～牡丹山の古墳・新潟市江南区郷土資料館・新潟市文化財センター・緒立遺跡・的場遺跡～

恒例の研修旅行は、晩秋の新潟市東区・江南区・西区を貸切バスでゆったりとめぐります。牡丹山諏訪神社(東区)は、5世紀前半に造られた古墳と推定されることが今年8月に確認されました。新潟市江南区郷土資料館は平成24年10月、江南区文化会館内に開館。「水と人々のあゆみ」をテーマに「亀田郷」の歴史と民俗を紹介しています。文化財センター「まいぶんポート」(西区木場)は、発掘調査による出土遺物の調査研究・収蔵保管・展示活用を進めるため、平成23年7月にオープン。市指定有形民俗文化財の旧武田家住宅も移築復元しています。近接する的場遺跡・緒立遺跡もあわせて見学します。両施設では、運営をサポートするボランティアの皆さんに展示解説をしていただきます。新潟市に所在する話題の遺跡と文化施設をめぐる旅です。ふるってご参加ください。

期 日 平成25年 11月23日(土・祝)

集合時間・場所 午前8時:阿賀野市安田体育館駐車場、午前8時30分:新津駅西口
※申し込み時に集合場所をお知らせ下さい。

参 加 費 3,500円(バス代・昼食代等)
※非会員4,500円
(会員の参加を優先しますので、申し込み多数の場合はご遠慮いただく場合があります。
なお、当日入会も可能ですので是非ご検討ください。)

行 程 (予定) 8:00 安田体育館駐車場 → 8:30 新津駅西口 → 9:15 牡丹山諏訪神社(古墳) →
10:00 新潟市江南区郷土資料館～ 11:45 昼食(江南区文化会館内の喫茶室「ココモkaffe」にて)～亀田図書館の自由見学～
13:00 発 → 13:30 新潟市文化財センター・緒立遺跡・的場遺跡 → 15:00 発 → 15:30 新津駅西口 →
16:00 安田体育館駐車場

定 員 25名(先着順)

申し込み締め切り 11月15日(金)

申し込み 〒959-2221 阿賀野市保田1725-1(博物館内)
吉田東伍記念博物館友の会事務局 Tel 0250-68-1200、FAX 0250-68-5016

…… 友の会伝言板 …… 事務局より

- ① 特別企画展とミュージアム・コンサートの開催に向けて、吉田東伍生家の草取り・清掃活動を下記のとおり行います。ご都合の付く会員の皆様のご参加をお願いします。

安田商工会婦人部の皆様による草取り: 10月20日(日) 午前6時30分から。

吉田東伍生家の清掃: 10月30日(水) 午前9時から。

- ② 8月31日(土)に運営委員会を開催しました。今年度後半の事業計画から、話題は来年度の活動にまで及び、今後の友の会のすがたを展望する貴重な時間になりました。

- ③ 原稿を募集しています!

『友の会通信』の「会員の研究ノート」「会員随想」「友の会伝言板」のコーナーへの投稿をお待ちしています。詳しくは友の会事務局までお問い合わせください。

編集後記

▲会員の小林弘さんに日頃の研究の成果を投稿いただきました。ありがとうございました。▲暑い夏がようやく過ぎ、学びの、食欲の、芸術の「秋」がやってきました。特別企画展、コンサート、研修旅行と、充実の博物館&友の会の活動。是非ご参加ください。
(H・T)